

た か し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

子供は地域の宝 ～だからこそ、地域を愛し、感謝の気持ちを育てたい～

校長 加納 直樹

教育のやり方に「こうすべき」はなく、それは時代と共に変わってきています。今は「〇〇教育」という言葉が溢れすぎて、かえって何に重きを置いて学校教育を進めているのか、分からなくなってしまうようです。そんな時、私は必ず本校の目指す児童像・学校像に立ち返って『高四の子供たちが将来どんな人になってほしいのか』と考えるようにしています。それは「自ら未来を切り拓く、心豊かでたくましい児童」であり、地域の教育・文化・スポーツの発信基地となり、地域を愛し、世界を見据えるグローバルでありローカルな「グローバルな学校」です。

大いに参考にしてしているのは、有名なカーリング女子チーム「ロコ・ソラーレ」です。先日も日本代表として世界大会で優勝していたので、ご存じの方も多いかと思います。氷上のチェスとも言われるカーリングはその状況に応じて作戦を考えながら、約42m先のハウスと呼ばれる的に16個のストーンを投げ合うとても戦略的なスポーツです。見たことのある人は分かると思いますが、原則的に審判は自分たちで行っています。素晴らしいフェアプレー精神が見てとても気持ちの良いスポーツです。

日本代表のロコ・ソラーレの選手たちの明るい笑顔も印象的です。ロコ・ソラーレという名前のロコは地方という意味のローカルと北海道北見市常呂町の子供たち常呂っ子からロコ、ソラーレはイタリア語で太陽、これを合わせるとロコ・ソラーレ。小さな田舎町常呂町の子供たちを明るく照らす太陽のようなチームという意味があるそうです。

ロコ・ソラーレの4人のうち3人は、北海道北見市常呂町の出身です。常呂町の人口はわずか3500人、小学生全員の数はわずか98人。学校の体育の時間にもカーリングの授業があり、みんなロコ・ソラーレに入りたいと練習をしているそうです。ロコ・ソラーレの4人の活躍はまさに常呂町の太陽のようです。カーリングを応援する地元常呂町の子供たちは皆、カーリングが盛んな常呂町への地元愛が強く、指導してくれる地域の大人の方々へ日々感謝の気持ちを強く抱いて生活しているそうです。「地域の大人が子供を変える、子供が変われば未来が変わる」ということを、実感しました。

子供たちは地域の宝物です。高井戸第四小学校でも、PTAの皆さん、そよかぜ本部の皆さん、町会の皆さんが、高四の子供たちのことを大切に见守り、育ててくれています。先生たちも、いつも子供たち一人一人の成長を応援しています。子供たち一人一人の夢が叶うような未来になるように、高四小は地域が一体となって子供たちを応援してくださっています。本当に恵まれた環境です。

今年も残りわずか。今、子供たちにできることは何か、必要なことは何かと言えば、自分たちがたくさんの方々を支えてもらっていることに気付き、それを当たり前だと思わず、感謝の気持ちを態度で示してほしいということです。地域の一員として、明るく元気にあいさつをして、健康で楽しい学校生活を過ごすこと、友達と協力して一生懸命勉強や運動に取り組むことだと思います。

感謝の言葉の多い家庭・学校・地域で育った子供たちは、自己肯定感や自信が育ち、社会や人の役に立ちたいといった志や奉仕の心も育つという思いを私は強く感じています。